

いかにあつたか

子供のころあつたか

母に夕べ寝てもらった帽子は手ありが花

あつたか

隙イスの上には筆身太のチエー

せそが頭に帽子をのせた

一匹はとがてらあか帽子が

子) 取もろ少し人形の足を

3 と も つ と と が て ま ー ま った

人形にむつたに座しきで金十仁

あつたか

平まゝにいたははぐらんと人形を足で踏む

下れた

ト気がつくとしの力に予にぶれぬの自さ

しの下に布面がある 靴のふきかき入りの布面

たどんぐりの葉とどんぐりの柄だ

どんぐり葉 どんぐりた と布面に近づく

とちまゝにとどんぐりを印したくするたひと

つ印つてきた もうひとつ印した もろひと

うもろひとつとどんぐりをも念印やうゆいた

印りぬいたどんぐりを 葉のむらじのやま

て度子ヲひらいてけい  
た

針糸子を一こりる母に  
こよとくぐりよと

あそび  
あそびたう母はあそび  
のあそびと見てほま  
ま

あかた

あつとばかりがいの  
あつとあつとあつと  
あつとあつとあつと

かあしん